

学修成果 産業技術短期大学(全学科共通)		
修得する知識・技能		学修成果
1 汎用的技能	1-1 課題発見・解決力、論理的思考	問題解決に必要な情報を収集し、それを基に解決方法を論理的に考えることができる。 課題に取り組むための教養(人文科学、社会科学、自然科学)を持ち、広い視野で問題に取り組むことができる。
	1-2 コミュニケーション・スキル	自らの考えを相手に正確かつ適切に文章や口頭で伝えることができ、そのために必要なプレゼンテーション能力を身につけている。
2 態度・志向性	2-1 チームワーク、自己管理能力	協調性を有しており、科学的・技術的課題に対し、チームワークにより問題設定・解決ができる。 自分に与えられた仕事を達成するために、自己管理をすることができる。
	2-2 倫理観	技術者倫理の知識があり、自己の技術行為に責任を持つことができる。
	2-3 市民としての社会的責任	技術者として、幅広い視野を有し、社会に役立つものづくりについて考えることができるとともに、一社会人としての行動、判断を自らの責任の下で行うことができる。
	2-4 生涯学修力	時代とともに変化・発展していく社会に対し、常に学び続けることができる姿勢を身につけている。
3 金属工学	3-1 金属工学	鉄鋼製造プロセス、各工程における高温化学反応・凝固現象・塑性加工・表面反応、およびそれらに関連する金属学についての知識を有している。
4 工学基礎	4-1 数学・自然科学	工学基礎としての数学の基礎知識を使うことができる。 工学基礎としての物理の基礎知識を使うことができる。 工学基礎としての化学の基礎知識を使うことができる。
	4-2 工学一般	工学に関する幅広い基礎知識を有し、工学の諸問題の解決に応用できる。
5 専門分野	5- 各学科専門分野 詳細は各学科の学修成果に記載する	専門分野を修得し、各専門分野について継続して学び続けることができる。
6 創造的思考	6-1 創成能力・システム設計	様々な分野の知識を活用して、新たなものづくりを展開することができる。 習得した知識を用い、他者と協議をしながら問題を解決する方法を計画し実行することができる。

学修成果 情報処理工学科		
修得する知識・技能		学修成果
5 専門分野	5-1 情報基礎	情報技術全般に関する基礎的な知識を示すことができる。
	5-2 情報処理	情報処理に用いる適切な技法を理解し、ソフトウェアを活用することができる。
	5-3 情報技術	コンピュータ、ネットワーク、情報セキュリティなどの基礎知識を示すことができる。
	5-4 プログラミング	現実的な問題を解くためのプログラムを開発する能力を示すことができる。
	5-5 社会的通用	学習した知識を実際の技術と関係づけて理解していることを示すことができる。